

質問2-1

事業者ごと・都道府県ごとのトラヒック、セッション数及び網終端装置台数（あるいは容量）の増減の状況を教えていただきたい。

【佐藤構成員】

回答2-1

- 当社は、網終端装置の混雑状況の改善傾向を示すデータとして、これまでISP毎、エリア毎の帯域使用率をお示ししてきたところです。今回ご要望いただいた情報については、ISP事業者様の経営情報であり、ご提示に際しては、本情報の取扱いについてISP事業者様のご意向をお伺いする必要があるため、今回の提示は困難ですが、引き続き、ISP事業者様とご相談させていただいたうえで、情報提供にご了解いただいたISP事業者様のデータについては、改めて、ご回答させていただきたいと考えています。
- 当社としては、トラヒック増加への対応策を進めており、本研究会で議論している網終端装置の帯域使用率の改善に向けた取組みも引き続き進めていく考えです。取組みにあたっては、地域事業者様向けの新たなメニューの提供に向けた検討や中堅事業者様、大手事業者様の声も踏まえた検討を進めるとともに、その状況については、本研究会の場でも経過を提出していく考えです。
- なお、ネットワークの中立性に関する研究会等でもインターネットトラヒックの「見える化」について議論されているとおり、ユーザ通信品質の実態を把握するためには、網終端装置の数値のみを注視するだけではなく、ボトルネック箇所の見える化や、トラヒック対策状況の可視化を行ったうえで、課題解決を行うことが重要と考えており、関連事業者様と協力しながら、こうした取組みを進めていく考えです。

接続料の算定に関する研究会

(第22回)

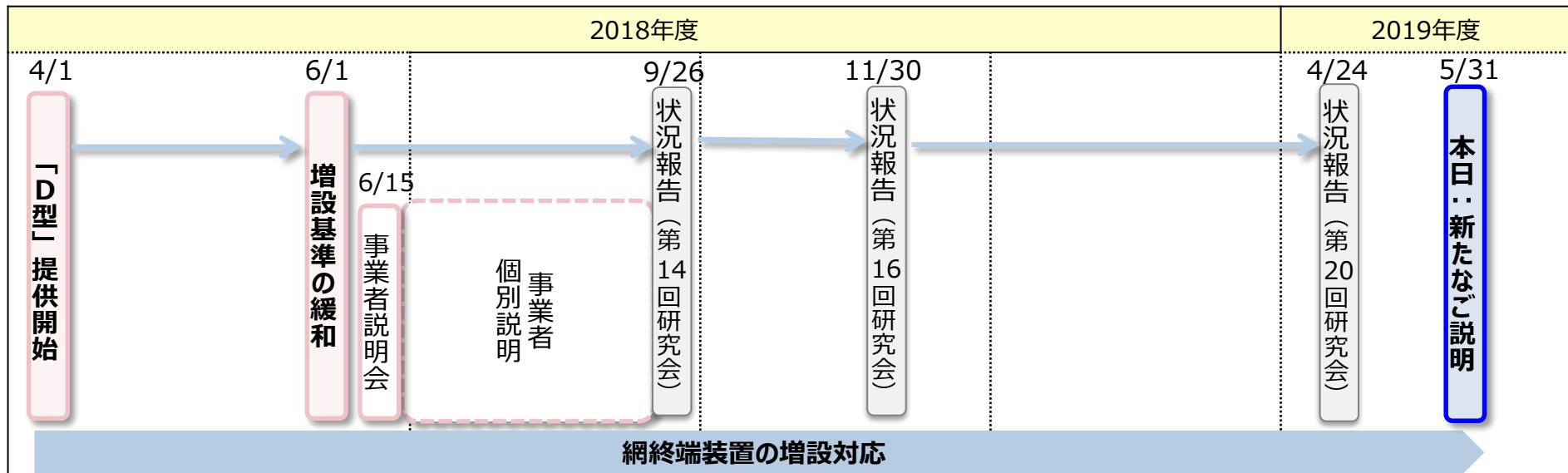
2019年5月31日

東日本電信電話株式会社
西日本電信電話株式会社

今後のトラヒック増における当社の取り組みについて

- 当社としては、インターネットトラヒックが増大する中、これまでも接続事業者が自由に増設できる接続メニュー（D型）の提供、増設基準セッション数の緩和（一律20%引き下げ）を通じ、ISP事業者様による品質改善に取り組んできたところであり、第20回研究会でご説明したとおり、混雑状況については全国事業者様を中心に改善済みまたは改善される見込みです。
- 今後もインターネットトラヒックの増大が見込まれることから、上記に加え、以下のとおり、更なる対応を進めていく考えです。
 - 地域事業者様向け新たな網終端装置のメニューの提供 … (2頁参照)
 - ISP事業者様向け網終端装置のトラヒックの見える化 … (3頁参照)
 - ISP事業者様からの具体的なご要望を踏まえた更なる大容量の網終端装置の提供

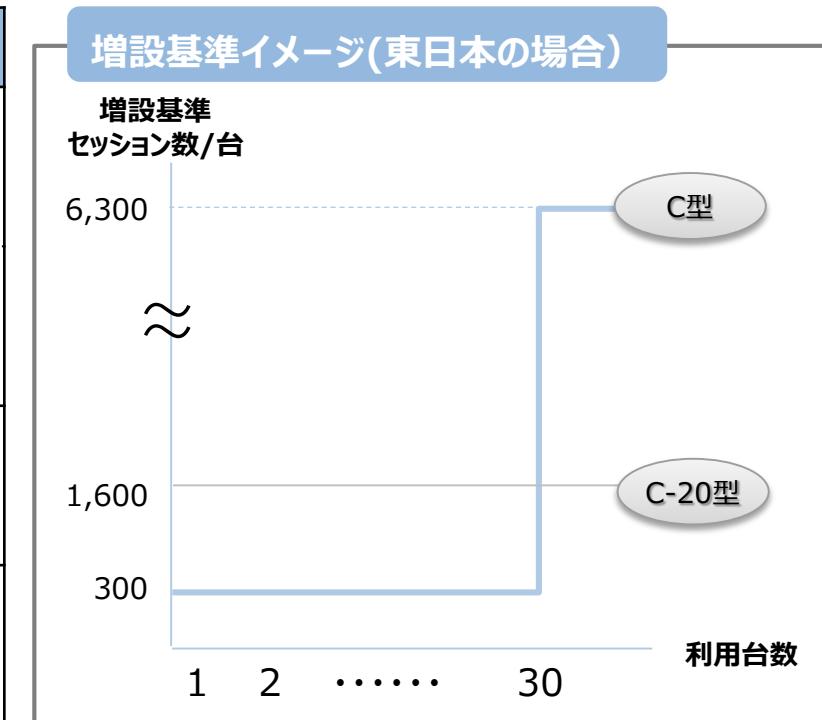
[これまでの取組状況]



地域事業者様向け新たな網終端装置のメニューの提供について

- ICTの普及を促進し地域活性化を期待されている地域事業者様のニーズにお応えすべく、伸び続けるインターネットトラヒックに柔軟に対応可能、かつご利用しやすい網終端装置の新たな接続メニューを提供すべく検討を行っております。
- 当社としては、このような取組みやIPoE移行を柔軟に組み合わせること等により、全ての区分のISP事業者様（地域/中堅/大手）※が今後のトラヒック増に対して柔軟に対応可能となるものと考えています。

| 項目 | メニュー概要 |
|--------|------------------------------|
| 増設の考え方 | 30台までは300セッション/台以上であれば、増設が可能 |
| 提供エリア | 全エリア（東西業務エリア） |
| 提供予定時期 | 準備が整い次第、速やかに提供開始 |
| 料金 | 月額料金額：現行メニューと同等 |



※ 地域事業者：特定エリアでサービス提供をしている事業者

中堅事業者：全国提供かつPPPoEを主力としている事業者

大手事業者：全国提供かつIPoEを主力としている事業者

(2019.4.24 接続料の算定に関する研究会（第20回）より)

ISP事業者様向け網終端装置のトラヒックの見える化

- 現在提供中の「**ISP事業者様向けトラヒックレポートシステム**」については、従来、増設判断を行うための材料として、網終端装置におけるトラヒックデータを「1時間毎」に提示しているところですが、昨今のインターネットの品質議論が高まっている状況を踏まえ、**通信品質の見える化に資するべく「5分間毎」の提供**等が行えるよう検討を行っています。
- 具体的な機能変更内容とスケジュールは下記のとおりです。

■ 次期システムの具体的な提供機能

| 項目 | 現行システム | | 次期システム |
|-----------|-------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
| | 東日本 | 西日本 | |
| トラヒック取得期間 | 最小間隔：1時間 毎時0～5分の 値のみ取得 | 最小間隔：1時間 5分ごとのデータを 平均化 | トラヒック取得間隔を短期化 最小間隔：5分間 |
| 画面・様式 | 検索画面・グラフ表示・CSV出力データ が東西で異なる | | 東西で同様の画面/様式 |
| 閲覧可能期間 | 直近概ね 1か月分 のデータを蓄積 | | 直近概ね 6か月分 のデータを蓄積 |
| 接続方法 | ISDNによる接続 | Webアクセス | Webアクセス |

■スケジュール

・東日本：2019年度末頃 ・西日本：2020年度1Q頃

※スケジュールについては、早期提供に向け、前倒しを検討しています。